

「サイバーインシデント演習in松山」を開催 《備えあれば憂いなし！サイバー攻撃の脅威に負けない組織づくりを》

- 総務省四国総合通信局は、令和5年2月20日（月）、企業等の経営層、情報システム運用担当者の方等を対象とした「サイバーインシデント演習in松山」を開催し、**企業、商工団体、大学、警察、国の機関等から40名**の参加がありました。
- **擬似的なセキュリティインシデント発生時の対応手順を体験**することにより、組織内の基本方針やルールを考えるなど、サイバー攻撃による被害拡大を最小限にとどめる効果的な対応方法等について理解を深めていただきました。

開催概要

- ・日時 令和5年2月20日(月) 14時～17時
- ・場所 Progresso eventroom（愛媛県松山市湊町）
- ・対象 中小企業や団体等の経営層、セキュリティ責任者及び情報システム運用担当者の方等



<主催挨拶 西岡局長>



<川口講師>



<講演の様子>

プログラム

第1部 講演（1時間）

「サイバー攻撃の情勢及び対応策について」

講師：株式会社川口設計 代表取締役 川口 洋（かわぐち ひろし）氏

インシデント事例を紹介しながら、サイバー攻撃による被害拡大を最小限にとどめる対応の流れを解説。

第2部 インシデント演習（2時間）

「セキュリティ事件・事故発生時の効果的な対応について」

講演の内容を踏まえ、参加者によるグループワークを実施。机上演習として疑似的なインシデント発生対応の検討、評価までのサイクルを、参加者が互いにディスカッション・意思決定しながら体験。



<インシデント演習の様子>

*参加者の声（アンケート等より）

「講師の話が参考になった。経験が豊富で、具体的な対策も良かった」「スピード感のある講演でわかりやすかった」

「様々な方との議論を重ねることにより、多くの気づきがあった」「予め備えをしておくことの大切さを理解できた。経営者への報告フォームはさっそく用意したい」

「講演や演習の内容をチームメンバーにも共有し、有事の際に備えたい」「定期的にこのようなセキュリティ演習をおこなってほしい」

- ◆ 総務省四国総合通信局では、経済産業省四国経済産業局とともに、地域の関係者と連携して「**四国サイバーセキュリティネットワーク**」を立ち上げ、地域のセキュリティ対策向上等に取り組んでいます。本演習もその一環として実施したものです。
<https://www.soumu.go.jp/soutsu/shikoku/chiiki/shikoku-cybersecuritynet.html>